

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公表番号】特表2015-513484(P2015-513484A)

【公表日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-558985(P2014-558985)

【国際特許分類】

B 4 2 D 9/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 9/00 B

C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日(2016.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

裏材層と、前記裏材層の片側の少なくとも一部に配置された再付着可能な接着剤層と、
を含み、

前記再付着可能な接着剤層の一つの部分から、前記再付着可能な接着剤層の他の部分までの距離が増加するように、裏材層の一部分が手で伸長可能であり、

前記再付着可能な接着剤層が、前記裏材層が伸長した後も接着力が維持される、伸長性テープフラッグ。

【請求項2】

前記伸長可能な部分が一方向に少なくとも100%伸長され得る、請求項1に記載の伸長性テープフラッグ。

【請求項3】

100%伸長時の前記伸長可能な部分の応力が約15MPa未満である、請求項1に記載の伸長性テープフラッグ。

【請求項4】

前記接着剤層が、不連続に存在し、

複数の前記接着剤層の部分の間に存在する前記裏材層の一部が、手で伸長可能である、
請求項1に記載の伸長性テープフラッグ。